

市内の脱炭素化促進と市内事業者による 持続可能なビジネスモデルの構築



1 岡崎市の目指す脱炭素

- (1) 数値目標
- (2) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 重点プロジェクト

2 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金について

- (1) 脱炭素先行地域づくり事業の概要
- (2) 重点対策加速化事業の概要
- (3) 交付額と民間事業者支援のスケジュール

3 公民連携プラットフォームに期待すること

- (1) 岡崎市の想い
- (2) 公民連携PF活用の狙い
- (3) スキーム図

※2022年度改訂 岡崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）より

2013年度

温室効果ガス排出量 2,832千 t - CO₂



2030年度

温室効果ガス排出量 50%削減 ※2013年度比



2050年度

温室効果ガス排出量 実質ゼロ

2020年には「ゼロカーボンシティ」を宣言

地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 重点プロジェクト

重点プロジェクト

2030（令和12）年度の温室効果ガス削減目標を達成するため、特に事業効果の高いものを重点プロジェクトとして設定します。

対象を明確にするため、「再エネ」「事業者」「市民」「交通」「森林」「市役所」の6つのプロジェクトに分けます。

プロジェクト1 > 再エネ

岡崎さくら電力を中心とした再生可能エネルギーをスマートに使いこなすプロジェクト



プロジェクト2 > 事業者

事業者の行動変容、事業所の脱炭素化促進プロジェクト



プロジェクト3 > 市民

市民の行動変容、再生可能エネルギー導入促進プロジェクト



プロジェクト4 > 交通

交通環境の次世代化促進プロジェクト



プロジェクト5 > 森林

森林整備から始まる中山間活性化プロジェクト



プロジェクト6 > 市役所

公共施設の脱炭素化100%推進プロジェクト



プロジェクト1 > 再エネ

- ・ 公共施設、民間施設、市民の再エネ設備の導入、利用を促進する
- ・ 創った電気は蓄電池やエネルギーマネジメントシステムを駆使し、効率よく、スマートに活用する
- ・ 2020年に立ち上げた地域新電力の「岡崎さくら電力」を活用し、電気の地産地消を目指す

プロジェクト2 > 事業者

- ・ 省エネ改修を支援し、事業所の脱炭素化を図る
- ・ 事業者の脱炭素経営を支援し、行動、意識の変容を図る
- ・ SBT等の認定を支援する

1 岡崎市の目指す脱炭素

- (1) 数値目標
- (2) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 重点プロジェクト

2 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金について

- (1) 脱炭素先行地域づくり事業の概要
- (2) 重点対策加速化事業の概要
- (3) 交付額と民間事業者支援のスケジュール

3 公民連携プラットフォームに期待すること

- (1) 岡崎市の想い
- (2) 公民連携PF活用の狙い
- (3) スキーム図



脱炭素先行地域づくり事業の概要

地域特性 非常に高い町内会加入率（約90%）

地域特性を活かす

- ◆町内会活動を核としたPV・蓄電池の最大限の導入
⇒PPA、リース、購入など幅広い選択肢を検討
敷地内に駐車スペースがある場合はV2Hも推奨
- ◆エネファーム+カーボンニュートラルGAS
⇒エリア内のエネファームを一括管理し、地域新電力
会社と需要家双方にメリット

資源の有効活用・産業構造の転換への契機

- ◆三菱自動車との連携



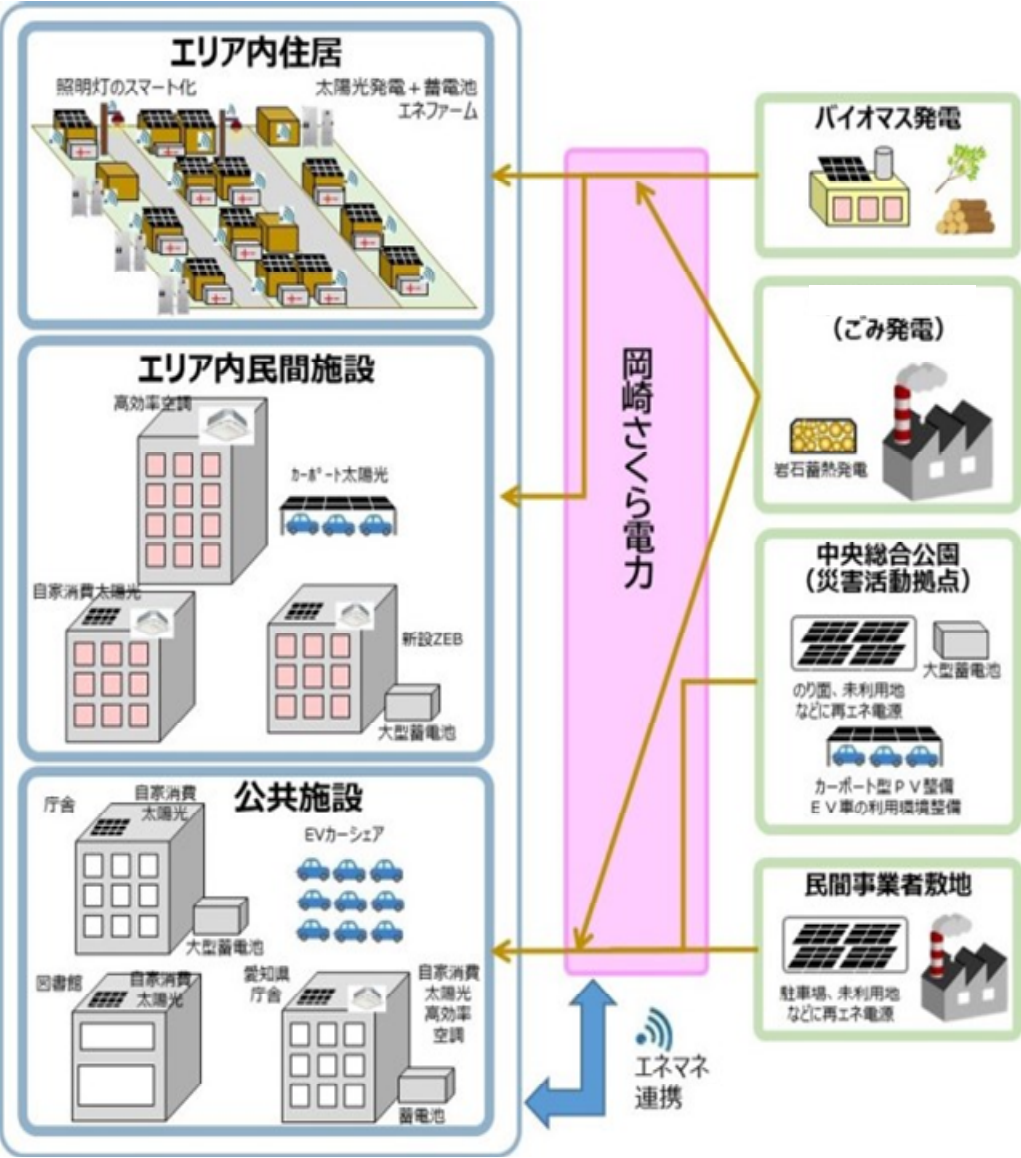
資源の有効活用
サプライチェーン全体の環境負荷低減

公用車のEV化と活用

- ◆カーシェアリング
（市民、企業、観光客など）
- ◆ゼロカーボンイベント

（株）岡崎さくら電力

- ◆事業収益の一部を子育て支援・空き店舗対策などの地域貢献事業に活用



提案者 岡崎市

タイトル どうする脱炭素？市内に広がる、省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり
～岡崎市脱炭素ドミノ 第2幕～

対象地域 岡崎市全域



◆市民・事業者への再エネ設備等の補助を大幅拡充

補助項目	件数
太陽光パネル	300件
蓄電池	300件
エネルギーマネジメントシステム	300件
高効率空調	30件
高効率照明	50件

(R5年9月時点の予定)

◆公共施設への再エネ発電設備等の導入

補助項目	施設数
PPA方式（発電規模50kW以上）	18施設（68建物）
リース方式（発電規模50kW未満）	16施設（30建物）

(R5年9月時点の予定)

脱炭素先行地域づくり事業 ▶▶▶ 約50億円／6ヵ年

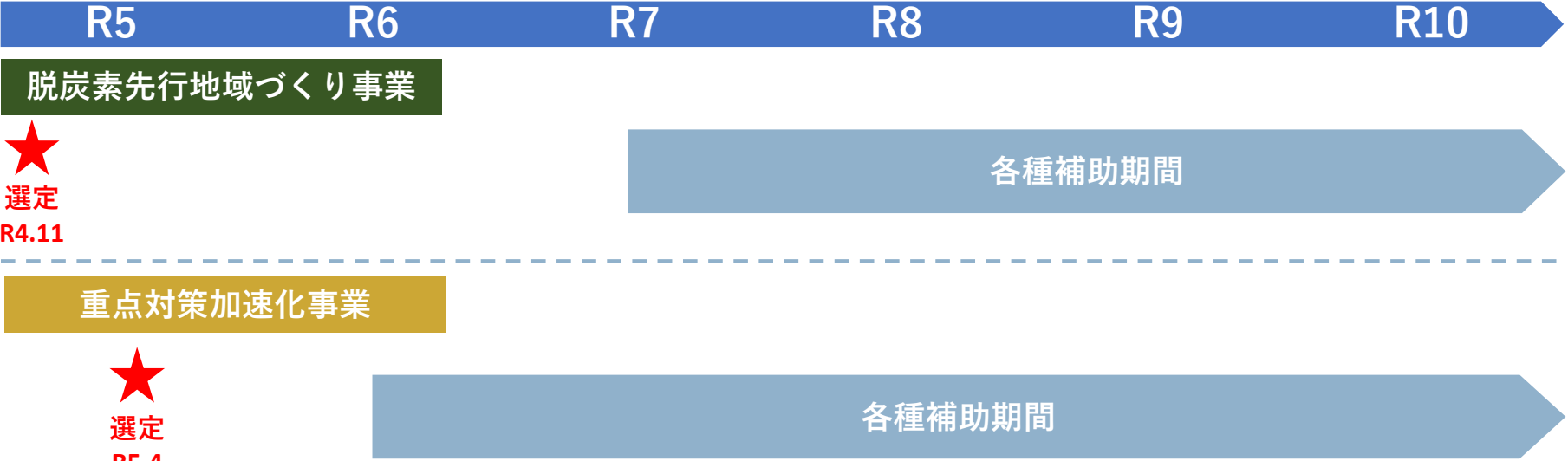
重点対策加速化事業 ▶▶▶ 約20億円／6ヵ年

交付金額と民間事業者支援のスケジュール

現時点の補助予定件数

補助項目	件数（先行地域づくり事業）		件数（重点対策加速化事業）		
	住宅向け	事業者向け	住宅向け	事業者向け	
太陽光パネル	222件	8件	595件	300件	
蓄電池	222件	8件		300件	
エネファーム	200件			630件	
エネルギーマネジメントシステム	222件			595件	
高効率空調		3件		30件	
高効率照明		2件			50件

現時点のスケジュール



1 岡崎市の目指す脱炭素

- (1) 数値目標
- (2) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 重点プロジェクト

2 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金について

- (1) 脱炭素先行地域づくり事業の概要
- (2) 重点対策加速化事業の概要
- (3) 交付額と民間事業者支援のスケジュール

3 公民連携プラットフォームに期待すること

- (1) 岡崎市の想い
- (2) 各ステークホルダーが求めること

①市内の脱炭素化

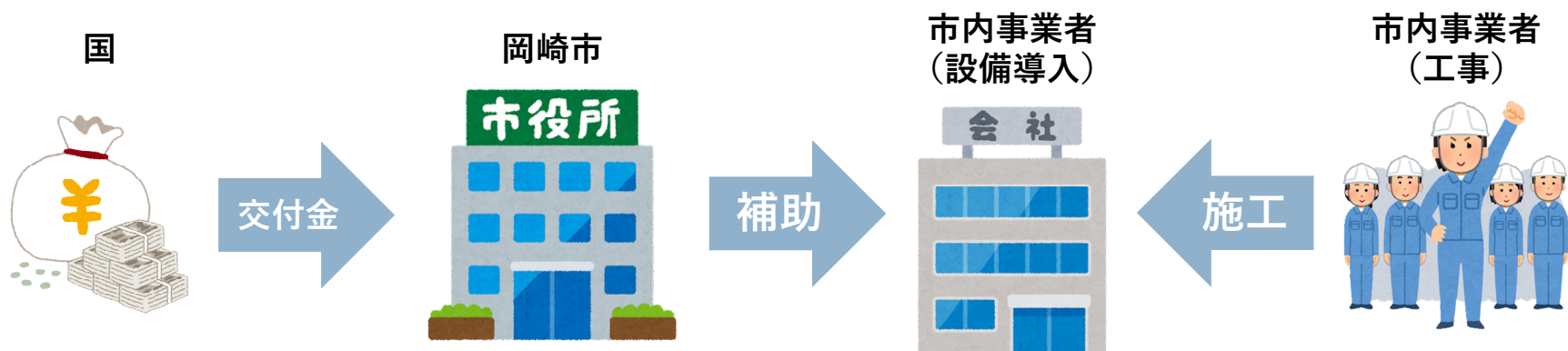
2050年の市内のカーボンニュートラルを目指して

②資本（補助金）の域内循環

総額 約70億円の補助金が市外へ流出するだけではもったいない

③市内事業者におけるノウハウの蓄積

今後も脱炭素関係事業の加速が見込まれる中、この機会に、設備の施工や省エネ&再エネのコンサルティング等、事業を請け持てる会社に成長してほしい



補助金は脱炭素化・脱炭素ビジネス創出のあくまで 起爆剤
2050年まで継続した取り組みになることを期待



市内施工業者

- 市内事業者の施工ノウハウ習得
- 施工を請けることによる利益確保
- 設備導入を検討する市内企業の情報提供

『公民連携事業者』には、各社の要望が叶う優秀な民間提案を求めます。



公民連携事業者



岡崎市

(ゼロカーボンシティ推進課)

- 市内の脱炭素化の促進
- 設備の施工による資金の域内循環
- 補助金の円滑な支給と補助事務作業の軽減



設備導入を希望する
市内中小企業
(省エネ/再エネ設備 導入事業者)

- 補助金を活用した低コストでの設備導入
- 電気代等のランニングコストの軽減
- 環境への配慮による企業PR